

主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・R1年度)

① 基本事項	計画コード	事業名		部名	総合政策部	
	17094	ホームページ情報発信事業		課名	政策課 広報秘書G	
	施策の大綱	05:市民力・地域力の活性化		財務科目	会計	01:一般会計
	基本施策	02:市民参画・協働の推進と多様な交流活動の促進			款	02:総務費
	施策の方向	01:市民参画・協働の推進			項	01:総務管理費
戦略プロジェクト	-		目		02:広報活動費	
事業予定期間	H 19 ~ R - 年度	主な根拠法令要綱等				

② 目的・概要	対象	市民及び市外の人
	目的	市の施策や魅力をどこでも必要な時に取得できるよう、CMSを活用したホームページにより、市内外に情報発信する。また、フェイスブックなどのツールを利用し、より身近で取得しやすい環境を整えるとともに、ICTを活用したコミュニケーション機能の充実を図る。
概要	平成26年度導入のCMSを活用したホームページにより、タイムリーかつ安定的な市政情報の発信を行うとともに、ウェブアクセシビリティ向上のため、継続的に職員研修を実施する。また、現行システムの賃貸借契約が令和元年度で満了することから、シティプロモーション専用サイトと統合やサーバのクラウド化に向けた検討を行う。	

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ホームページ公開用サーバー等の運用 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページでの情報発信 ・保守管理 ・システム更新に関する検討 ○CMS操作研修の実施(年1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ホームページ公開用サーバー等の運用 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページでの情報発信 ・保守管理 ・システム更新に関する検討 ○CMS操作研修の実施(年1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ホームページ公開用サーバー等の運用 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページでの情報発信 ・保守管理 ・システム更新に関する検討・準備 ○CMS操作研修の実施(年1回) 	
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ホームページの運用 <ul style="list-style-type: none"> ・更新件数 1,240件 ・フェイスブック掲載件数 187件 ・組織再編に伴う更新作業を実施(3月) ○研修 <ul style="list-style-type: none"> ・CMS操作(アクセシビリティ)研修を実施(7月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ホームページ公開用サーバー等の運用 <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信件数 1,682件 ・フェイスブック掲載件数 170件 ・保守管理(賃貸借契約によるハード・ソフトウェアの保守、組織再編に伴う更新) ・システム更新の検討材料(現行ページ数、各ページの閲覧数等データ)の収集 ○研修 <ul style="list-style-type: none"> ・アクセシビリティ、SNS等に関する研修(9月) 		
事業の計画・実績	計画額	事業費	7,300千円	6,800千円	6,800千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他	700千円	700千円	700千円
	予算額	事業費	7,268千円	6,728千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他	535千円	550千円	
	決算額	事業費 ①	7,260千円	6,490千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他	587千円	488千円	
人件費	一般財源	6,673千円	6,002千円	0千円	
	総人件費 ②	4,319千円	4,747千円		
	一般職員	4,319千円	4,747千円		
	所要人員	0.56	0.61		
	臨時職員等	0千円	0千円		
総コスト(①+②)		11,579千円	11,237千円		
受益者負担率		0.0%	0.0%		

			平成29年度	平成30年度	令和元年度	
④ 指標	①	名称	ホームページでの情報発信件数	計画値 1,500	1,550	1,600
			ホームページに掲載した件数	実績値 1,240	1,682	
				単位 件	件	件
②	名称	ホームページの閲覧件数	計画値 600,000	605,000	610,000	
			実績値 689,387	652,745		
			単位 件	件	件	
③	名称		計画値			
			実績値			
			単位			

⑤ 事業の改善	前評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 ウェブアクセシビリティについては、引き続き研修を実施するとともに、各ページの改善状況の把握・進捗管理を行う。また、CMS操作研修において、分かりやすいページ作成、迅速な情報発信、フェイスブックやYouTubeの活用についても周知する。 ホームページの方向性については、検討を開始する。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 広報研修を9月に実施し、ウェブアクセシビリティに関する研修、また、迅速な情報発信の必要性やフェイスブック等SNSの活用についての説明を行った。個々のページのアクセシビリティへの対応状況については、更新時に確認・改善を行った。 ホームページの方向性については、サーバの耐用年数等も踏まえた中で、効果的なシステム更新について検討を行った。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 CMSにより1,682件の情報をタイムリーに情報発信したほか、フェイスブックに170件の記事を投稿し、SNSを活用したコミュニケーション機能の充実を図った。また、各課の担当職員を対象に、CMS、CATV番組、市広報を含めた広報研修を1回開催し、職員のスキルアップと各媒体の特色を生かした情報発信への理解向上を図った。一方、システム更新について検討を行い、サーバの耐用年数等を踏まえ、令和2年度に実施するよう第2次実施計画に位置付けた。	B まずまず実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 年度当初、組織再編の影響で表示されないページが一時発生したものの、早期に対処し、年間を通じて大きな混乱や苦情はなく、タイムリーで安定的な市政情報の発信ができた。また、フェイスブックの利用により、SNSを活用した情報発信ができたほか、コミュニケーション機能の充実にもつながった。	B まずまず成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 ホームページの閲覧件数について、計画値は上回ったが前年度より約5%減っており、本事業が目指す「市民参画と協働によるまちづくりの推進」に向けて、魅力的な情報発信に努める必要がある。また、誰にも分かりやすい情報発信のために、ウェブアクセシビリティの一層の配慮が必要なページがある。このほか、ホームページアンケートにおいて、「見つけにくい」との回答率が高くなった。これは、情報過多や階層の深さ等に原因があると思われるため、これらを解消する必要がある。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 タイムリーで積極的な情報発信に一層努めるほか、ホームページでの情報発信方法やウェブアクセシビリティについて、引き続き職員研修等を実施し、分かりやすく魅力的なページの更新を促す。ページや情報の「見つけやすさ」については、ホームページのシステム更新時に、カテゴリーや階層等も併せて検討し、ホームページの効果的な運営方法も含め研究・検討を行う。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 全てのホームページ利用者が、必要な情報に容易にアクセスでき、また、タイムリーで魅力的な情報を得られることで、市政に関する理解や関心が高まるほか、市民や団体等様々な主体による交流が活性化される。	
対応時期		令和元年度～	

【1次評価者】	総合政策部 政策課 広報秘書グループリーダー 松岡 保範
【最終評価者】	総合政策部 政策課長 笠井 武洋

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	B	B			
	成果	B	B			